

トムス ハイパーブレーキキット リヤ

このたびは、トムスハイパーブレーキキット リヤ（以下ブレーキキットリヤ）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。

【適応車種】 本製品は以下の車種に対応しています。（2007年8月現在）

品番	車名	型式	年式	備考
43052 TGS80	トヨタクラウンアスリート3.5L	GRS184	2005/10--	
	トヨタクラウンアスリート3.0L	GRS182	2003/12—2005/10	
	トヨタマジェスタ	UZS186	2004/07--	
	トヨタマークX 3.0L	GRX121	2004/11--	
	トヨタマークX 2.5L	GRX120	2004/11--	
43052 TGE21	レクサスIS350	GSE21	2005/09--	
	レクサスIS250	GSE20	2005/09	
	レクサスGS430	UZS190	2005/09	
	レクサスGS350	GRS191	2005/09	

事前に以下の純正部品をご用意ください

品名	品番	個数
リヤローターR/L	432431-14150	2

【取付上のご注意】 以下のご注意を必ず守るようお願いいたします

- 本製品はフロントブレーキシステムが、トムスハイパーブレーキキットフロントまたは、それと同等以上のブレーキシステム（例；ローター直径334mm以上のローターを使用しているブレーキシステムなど）との同時装着を前提として販売しています。標準のフロントブレーキとの組み合わせは前後のバランスが合わないため、もしそのような組み合わせの場合は運転には十分ご注意ください（リヤブレーキの利きが強くなるため、制動時車両の挙動が不安定になりやすい）。
- 本製品装着の際、ブレーキフルードエア抜き作業をする必要がありますが、通常のエア抜き方法と異なりSSTが必要です。SSTを使用しない場合や正しいエア抜き作業をしない場合、制動力が不足し障害や事故につながる場合があります。エア抜きの方法の詳細はトヨタ販売店サービスにお問い合わせください。
- 脱着部品の締め付けは、必ず規定トルクで締め付けてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります
- 車両をジャッキアップ後は、必ずリジットラック等にて確実に車両を固定してください。
- 取り付け後走行した後に、ボルトの緩みや、ボディとの干渉をチェックしてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります
- 走行前の仕業点検時にブレーキパッドの摩耗量を必ずチェックしてください。通常のブレーキシステムに比べ、パッドの摩耗時期が早い場合があります。
- パッドの温度が冷えている走行開始直後は制動力が不足する場合があります。
- 本製品を装着した場合、「キーキー」もしくは「グググ」という音が発生したり、ブレーキダストが増加する場合があります。性能向上のためご了承ください。

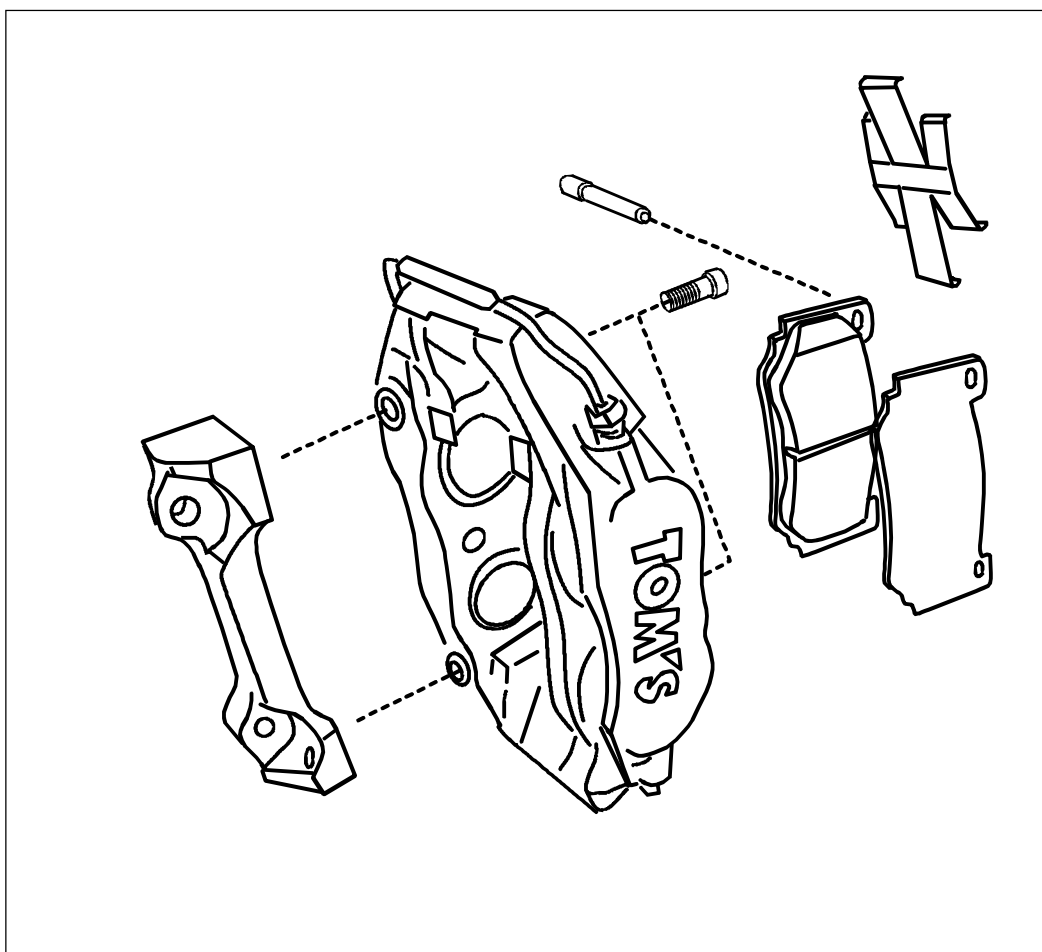
【構成部品】 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい。

リヤキャリパーASSY (R/L)	各 1	ブレーキパッドリヤ	× 4
キャリパーブラケット (R/L共通)	× 2	アンチラトルピン	× 4
ボルト	× 4	アンチラトルスプリング	× 2

【準備品】 作業前に以下のものを準備してください

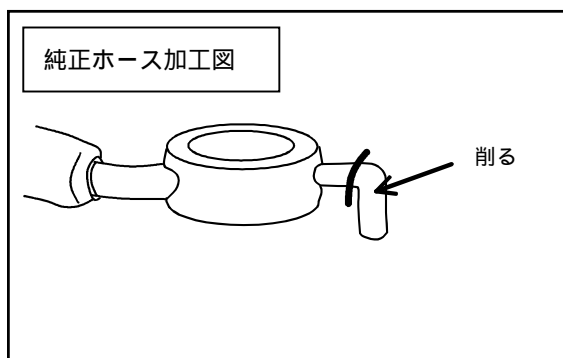
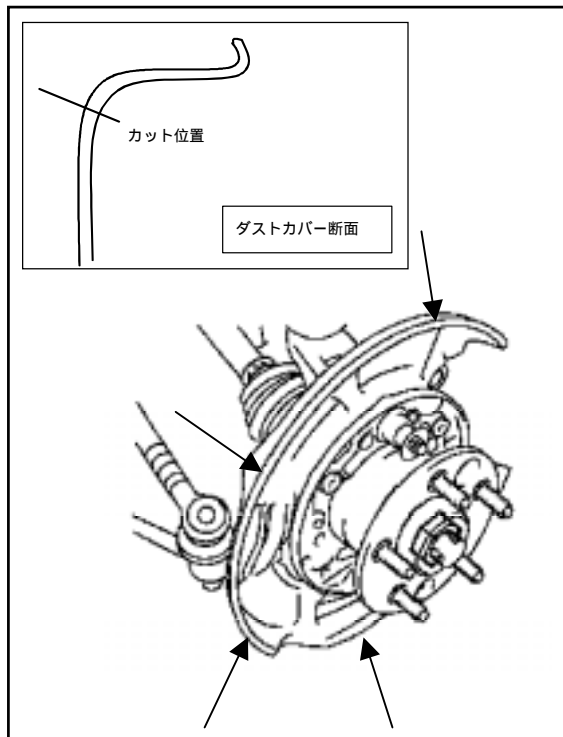
TaSCANセットまたはS2000 トヨタ品番09991-70200または相当品
ブレーキフルード

【構成部品図・組み付け図】



【取り付け方法】

- 1 純正キャリパーはずし
 - (1) ブレーキフルード抜き取り
 - (2) ユニオンボルトおよびガスケットをはずし、フレキシブルホースをディスクブレーキシリンダリヤASSYから切り離す
 - (3) ボルト2本をはずし、キャリパーおよびシリンダマウンティングをいっしょにはずす
 - (4) リヤローターをはずす



2 ダストカバー加工

- (1) キャリパーブラケットをはずした純正ボルトでアクスルに取り付ける
⇒ **キャリパーブラケットNo.1(ワッシャー)は使用しない**
⇒ **ブラケットに上下はない**
⇒ **締付トルク 54N.m(551Kgf.cm)**
- (2) キャリパーを キャリパーブラケットにボルトで仮付けする
- (3) キャリパーとダストカバーの干渉部分にマーキングをする
- (4) キャリパーを一度はずし、ダストカバーの干渉部をカットする
- (5) ダストカバーのミミの部分に全周にわたって切り取る
 - サンダーなどを使用するとよい
 - ミミのR始まり部分から切り取る
 ⇒ **切り粉がブレーキパイプや、センターブレーキ部分にかからないよう十分注意する**
 ⇒ **防護めがねなどを使用し、安全に十分留意すること**
 ⇒ **交換するローターを仮付けし、ダストカバーと干渉しないか確認する**
 ⇒ **カットした箇所はバリを除去し、タッチアップなどで防錆処理をする**

3 トムスブレーキキット取り付け(構成部品図・組み付け図を参照のこと)

- (1) 交換するローターを取り付ける
⇒ **R/Lはない**
- (2) キャリパーを ボルトで取り付ける
⇒ **締付トルク 70N.m(710Kgf.cm)**
- (3) アンチラトルピンで パッドを取付ける
⇒ **ピンは確実に挿入すること(ピンポンチなどでたたき、確実に入っていることを確認する)**
 ⚠ **警告**
 ⇒ **ピンがはずれた場合、重大事故につながる場合があるので確実に挿入する**
- (4) アンチラトルスプリングを取り付ける
⇒ **矢印マークをローター前進回転方向と同じにする**

じにする

- (5) ブレーキホースを取り付ける
 - 純正ホースを使用する場合は、回り止め部分を削って使用する
 ⇒ **切り粉がブレーキホースにはいらないように十分注意する**
 ⇒ **防護めがねなどを使用し、安全に十分留意すること**
- (6) ブレーキエア抜き作業をする
⇒ **エア抜き作業の詳細は該当車両修理書を参照のこと**